各学部のカリキュラムに合わせたプログラム

学部独自の留学制度・海外研修制度

11学部において、学部独自の留学制度であるスタディ・アブロード（SA）プログラムがカリキュラムに組み込まれています。また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。

※一部の留学制度・海外研修制度には、奨学金制度があります。

» SA奨学金制度 ———— P.190　» 海外留学支援奨学金制度 —— P.187

スタディ・アブロード（SA）プログラムについての詳細はこちら

独自の留学制度・海外研修制度を実施している学部

全15学部

学部独自の留学制度

学部・制度名	形態	2019参加人数	留学先（1つを選択）	期間	目的
文学部英文学科 SAプログラム	英文学科1〜4年次の希望者（学科内選考あり）	16	ダブリン大学®（アイルランド）	夏休み3週間	英語と英語文化・英米文学を海外で学ぶ
	英文学科2〜4年次の希望者（学科内選考あり）	4		秋学期約3ヵ月間	
		6		秋学期約7ヵ月間	
	英文学科2〜4年次の希望者（学科内選考あり）	1	フォントボン大学（アメリカ）	秋学期約4ヵ月間	
		1		秋学期約7ヵ月間	
	英文学科2〜4年次の希望者（学科内選考あり）	10名予定	ヴィクトリア大学®（カナダ）	秋学期約4ヵ月間	
経済学部 SAプログラム	定員約60〜100名（学部内選考あり）	45	カリフォルニア大学デイヴィス校®（アメリカ）、シェフィールド大学®（イギリス）、モナシュ大学®（オーストラリア）、ブロック大学®（カナダ）	2年次春学期約4ヵ月間	英語力を磨くとともに、留学先の文化、社会、経済、ビジネスなどを英語で学ぶ
社会学部 SAプログラム	希望者（学部内選考あり）	16	ボストン大学®・カリフォルニア大学サンディエゴ校®（アメリカ）、トロント大学®（カナダ）、北京師範大学®（中国）	2年次または3年次秋学期の約2〜5ヵ月間	語学能力を磨き、異文化社会に対する理解を深める
		6	アルバータ大学（カナダ）	3年次の約8ヵ月間	1学期目に集中英語講座を受講し、2学期目は学部の正規授業を履修する
経営学部 SAプログラム	定員約30名（学部内選考あり）	13	ネバダ大学リノ校®（アメリカ）、モナシュ大学®（オーストラリア）	2〜4年次秋学期に約3〜4ヵ月間	ビジネスに必要な英語コミュニケーション能力を高め、異文化理解を深める
国際文化学部 SAプログラム	学部生全員が留学（ただしSSI参加者は選択制、外国人留学生は欄外参照）	245	シェフィールド大学®・リーズ大学®（イギリス）、カリフォルニア大学デイヴィス校®・ミシガン州立大学®・ボストン大学®（アメリカ）、ヨーク大学®・トレント大学®・ブロック大学®（カナダ）、モナシュ大学®（オーストラリア）、ロイファナ・リューネブルク大学®（ドイツ）、西部カトリック大学®（フランス）、ベテルブルク国立交通工科大学®（ロシア）、上海外国語大学®（中国）、バルセロナ大学®（スペイン）、韓国外国語大学®（韓国）	2年次秋学期約3〜6ヵ月間	外国語運用能力を磨き、異文化への共感力とコミュニケーション力を高める
人間環境学部 SAプログラム	定員10名（学部内選考あり）	10	ボンド大学®（オーストラリア）	秋学期約3ヵ月半	英語によるコミュニケーション能力を向上させながら、アカデミックイングリッシュを身に付けることを目指す
キャリアデザイン学部 SAプログラム	定員10名（各国5名上限・学部内選考あり）	オークランド 5 アデレード 5	オークランド大学®（ニュージーランド）、アデレード大学®（オーストラリア）	秋学期約3ヵ月間	英語コミュニケーションの能力を高めるとともに、異文化への理解と交流を深めることを通じて、自らのキャリア形成の基礎を築く
GIS（グローバル教養学部）Overseas Academic Study Program	希望者（派遣先の条件を満たすこと）	8	サンホセ州立大学（アメリカ）、サセックス大学（イギリス）、プリンスエドワードアイランド大学（カナダ）	4〜5ヵ月間	学部課程の正規授業を受講
		---	マッセイ大学（ニュージーランド）	約4ヵ月間もしくは約10ヵ月間	
情報科学部 SAプログラム	定員約8名	---	プトラマレーシア大学（マレーシア）	夏休み4週間半	語学能力を磨くと同時に、世界トップクラスの授業に参加することで、多文化共生を感じると同時に、世界に目を向け、世界トップクラスの研究への意欲を高める
理工学部 SAプログラム	定員約30名	19	カリフォルニア大学デイヴィス校®（アメリカ）	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
	定員約25名	8	リムリック大学®（アイルランド）	春休み4週間	
生命科学部 SAプログラム	定員約30名	8	カリフォルニア大学デイヴィス校®（アメリカ）	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
	定員約25名	6	リムリック大学®（アイルランド）	春休み4週間	

1.※印の留学先は、大学付置の語学センターとなります。 2.年度により留学先が変更となる場合があります。 3.外国人留学生入試前期日程、海外指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、韓国済州特別自治道教育庁からの推薦入試等により入学した国際文化学部の外国人留学生は、SAプログラムではなく、スタディ・ジャパン（SJ）プログラムへの参加となります。

学部独自の海外研修制度

学部・制度名	形態	2019参加人数	留学先（1つを選択）	期間	目的
法学部 Overseas Study Program（OSP）	国際政治学科全員 法律・政治学科（若干名）	136	オックスフォード大学（イギリス） 南フィリピン大学（フィリピン）	イギリス：夏休み10日間程度 フィリピン：夏休み15日間程度	英語力を磨き、国際的な視野を広げる
文学部哲学科 国際哲学特講	哲学科2〜4年次の履修希望者 定員約20名（選抜となる場合がある）	15	フランス、ドイツ	2月の約1週間	哲学の諸問題を海外の風土・文化の中で、海外の学生との合同ゼミを通して学ぶ
社会学部 単位認定海外短期留学制度	ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修した者	---	学部の認定した外国語研修機関（ドイツ、フランス）	1〜3年次の春休み期間 2〜4年次の夏休み期間	社会学部が認定した外国語研修機関に留学し、語学能力を磨く
国際文化学部 海外フィールドスクール	SAまたはSJを修了した学生 各コース5〜10名（学内選考あり）	14	フィリピン、タイ、ミャンマー、ラオス（年度により変わります）	夏休み1週間〜10日程度	SAまたはSJで修得した異文化コミュニケーション能力を生かし、より高度な専門知識を修得する
人間環境学部 海外フィールドスタディ	希望者（学部内選考あり）	57	オーストラリア、東南アジア、中国、ヨーロッパなど（年度により変わります）	夏休みまたは春休みに10〜14日間程度	現地で環境問題の見聞を広める
現代福祉学部 海外研修制度	定員30名（学部内選考あり）	30	スウェーデン	2年次の夏休み8日間程度	海外において社会福祉や地域づくり、心理の現場を学ぶ
キャリアデザイン学部 キャリア体験学習（国際）	定員各10名（希望者多数の場合、学部内選考あり）	ベトナム 10 台湾 10	ベトナム、台湾	夏休みに2週間	現地研修を行う上で必要な知識、言語等について学び、異文化に直接触れることで国際性を身に付ける
スポーツ健康学部 スポーツ健康学海外演習	定員22名（学部内選考あり）	18	ボイシー州立大学（アメリカ）	2・3年次の夏休み2週間	英語能力を磨き、スポーツ健康学の知識を深める
スポーツ健康学部 スポーツコーチング海外演習	定員15名（学部内選考あり）	11	ヨーロッパ（ドイツ、スペイン、フランスなど）	2〜4年次の夏休みまたは春休みの1週間〜10日間程度　※調整中	海外のトップスポーツクラブの現地視察を行い、コーチングの観点を持ちながら多角的に学ぶ
スポーツ健康学部 スポーツビジネス海外演習	定員20名（学部内選考あり）	19	ニューヨーク（アメリカ）	春休みの1週間程度	海外においてスポーツビジネスの基礎を学ぶとともに、国際感覚を養うことを目的とする
デザイン工学部 海外派遣プログラム	システムデザイン学科2年次の希望者	12	南フィリピン大学（フィリピン）	2年次の秋学期前半	英語によるコミュニケーション能力を高め、国際的な視座を手に入れる

1. 年度により留学先が変更となる場合があります。



社会学部SAプログラムに参加して

英語4技能が総合的に高まり 積極性や実践的な瞬発力も向上

まさに家族のように接してくれたホストマザー

高校の修学旅行でオーストラリアを訪れた際に、英語が話せず悔しい思いをしたことをきっかけに、大学では海外に留学しようと心に決め、留学制度が充実している法政大学に入学。2年次の秋学期に、カリフォルニア大学サンディエゴ校に留学し、英語漬けの日々を過ごしました。日本人学生との関わりを少しでも減らそうと、滞在先は寮も選べましたがホームステイを選択。現地の授業では、子どものしつけに関する日米比較にチャレンジしました。まずは、参考になる英語の論文や記事を読んで知識を蓄え、次にヒアリング形式でアメリカ人学生の意識調査を行いました。そして、調査内容をレポートにまとめるまでの一連のプロセスの中で、リーディング・スピーキング・リスニング・ライティングの英語4技能をバランスよく高めることができました。帰国後はTOEFL ITP®がほぼ満点になり、数字として目に見える成果もありましたが、最大の収穫は、必ずしも完璧な英語である必要はないという気付きです。文法に縛られすぎず、身振り手振りも交え、単語が出てこなければ別の言葉で言い換える。例えば「洗濯機を使いたい」時に、洗濯機の英単語が出てこなくても、「服を洗いたい」と言えば伝わります。留学先では、こうした瞬発的な対応力も身に付きました。この先、英語が日常生活でも必須スキルになっていく中で、現地での経験は私に大きな自信を与えてくれました。

Student's Voice

是洞 真菜 さん

社会学部 メディア社会学科 4年
東京都私立淑徳巣鴨高等学校 出身

スポーツ健康学部スポーツ健康学海外演習に参加して

学びにスポーツに、たくさんの刺激を受けた2週間は 自分が何を目指したいのかを改めて見つめ直すきっかけに

大学入学を機に北海道から上京して、それまでの自分が狭い世界しか知らなかったことを実感し、「さらに広い世界を見てみたい」と海外研修制度に挑戦。それまでは海外旅行にも行ったことがなかった私ですが、先生も同行してくれるため、安心して参加することができました。

アメリカ、アイダホ州にあるボイシー州立大学での2週間は、さまざまな体験と気付きをもたらしてくれる貴重な日々となりました。午前中の英語の授業では、学生同士のコミュニケーションを重視した内容で、インプットだけでなくアウトプットすることの大切さを教わりました。午後はスポーツ健康学に関する実習の他に、課外授業としてスポーツの観戦や実際に体験する機会も。車いすバスケットボールやロッククライミングなど、普段気軽にはできないスポーツを体験できたことも良い思い出です。この研修を通じて、積極性や自主性がいかに大切かを再認識することができましたし、現地の学生の学びに対する真摯な姿を見て、「自分のやりたいことは何なのか」、改めて見つめ直すきっかけにもなりました。また、当初研修プログラムに含まれていなかったスポーツ研究所を訪問する機会もいただき、現地で活躍する日本人トレーナーから直接お話を聞けたことで、自分の世界がさらに広がりました。今後は英語をもっと勉強して、さらに長い期間の留学をしてみたいと思っていますし、興味が湧いてきたスポーツトレーナーの勉強にも力を入れようと思っています。

授業でロッククライミングを体験

Student's Voice

南澤 楓香 さん

スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 2年
北海道札幌月寒高等学校 出身